

目 次

SPKの企業文化	1
オーナーのみなさまへ	2
営業の報告	3
経営方針と見通し	4
中間連結貸借対照表	5
中間連結損益計算書 / 中間連結剰余金計算書	7
中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
中間単体貸借対照表	9
中間単体損益計算書	11
主要経営指標の推移	12
株式の状況 / 大株主	15
株価の推移 / IR活動レポート	16
役員 / 主要な事業所 / 連結子会社	17
会社概要 / 沿革 / 株主メモ	18

S P K の企業文化

< 行 動 規 範 >

習慣を重んじ、よき習慣をつける
 戦略思考で開発・開拓に努める
 実践・スピード・結果で勝負する

オーナーのみなさまへ

S P K オーナーのみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第134中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業のご報告にあたり、日頃のご理解・ご支援に対し心から感謝申し上げます。

さて、当中間期の連結決算業績は、前年同期比で申し上げますと、売上高は2.8%の増収、営業利益は4.7%増、経常利益は6.1%増、中間純利益は12.8%の増益となりました。

オーナーのみなさまへの配当につきましては、配当重視の方針にもとづき、中間配当は1円増配の17円とさせていただきます。

下期も国内外厳しい環境が続きますが、仕事の質を高め、マーケットを深く耕すという地道な営業活動を根気よく積み重ねて「持続する収益力」を強化してまいります。

なにとぞ、今後とも一層のご理解とご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役会長 中嶋 功
 代表取締役兼社長執行役員 小高伸介



会長 中嶋 功



社長 小高伸介

営業の報告

当中間期の概況

当中間期（連結）の売上高は、3営業部門とも前年同期を上回り、対前年同期比2.8%の増収となりました。利益面では、ひきつづき補修部品販売が堅調であったのに加えて、工機営業の増販効果もあり、営業利益は4.7%の増益となりました。

国内営業は部品の長寿命化による部品交換頻度の減少、規制緩和による車検の簡素化等により、整備需要の減少傾向が続いておりますが、フォークリフトの補修部品の拡販や猛暑によるバッテリー等の夏季商品の売上寄与により対前年同期比0.8%の微増にとどまりました。

海外営業はアジア地域の売上が伸び、中南米地域は回復基調となりました。中近東地域はイラクの混乱などで落ち込み、欧米地域は北米が堅調で、欧州は在庫調整もあり落ち込みました。その結果、1.5%の増収となりました。

工機営業は納入主要業界である建機・産機・農機での増産により好調に推移し、22.6%の増収となりました。

全社経営データ

①当連結グループの業績 （単位：百万円、％）

	当中間期	前中間期	対前中間期比
売上高	14,922	14,509	102.8
営業利益	645	616	104.7
経常利益	701	660	106.1
中間純利益	414	367	112.8

②連結売上高データ （単位：百万円、％）

	当中間期	前中間期	対前中間期比
国内営業	8,779	8,707	100.8
海外営業	4,662	4,594	101.5
工機営業	1,480	1,207	122.6
連結売上高	14,922	14,509	102.8

経営方針と見通し

社会的貢献を持続するために、「豊かに持続すること」これがSPKの経営目的です。

<経営の基本方針>

- ① 企業の変革と経営の先進性を追求します。
- ② 全社員に成長するチャンスとステージを提供します。
- ③ 「持続する収益力」の維持・強化をめざします。
- ④ お取引先の満足と社会への貢献を追求します。
- ⑤ 株主、利益配分及び情報開示を重視します。

収益体質が強化されつつありますので、通期も増益が維持できると見ています。上期の1円増配に続いて、下期も1円増配し、通期で2円増配の34円配当をし、7期連続の増配を実現していきたいと考えております。

<当連結グループの業績見通し>

（単位：百万円、％）

	通期見通し	前期実績	対前期比
売上高	30,000	29,229	102.6
営業利益	1,345	1,291	104.1
経常利益	1,440	1,389	103.6
当期純利益	830	776	106.8

通期の業績見通し

国内営業は引き続き厳しい事業環境にあります。自動車アフターマーケットをこれからも事業領域として、深掘してまいります。海外営業はアジアを中心に機能パーツのシェア拡大を図ります。工機営業は引き続き好調に推移すると考えております。

当期業績の見通しは、期首の発表通り売上高300億円、経常利益14億40百万円を達成してまいります。

中間連結貸借対照表

科 目	当中間期	前 期
	平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	10,290	10,451
現金及び預金	1,774	1,919
受取手形及び売掛金	6,088	6,393
たな卸資産	2,172	1,850
繰延税金資産	147	150
その他	121	159
貸倒引当金	13	21
固定資産	1,811	1,588
有形固定資産	746	747
建物及び構築物	105	105
土地	619	619
その他	21	23
無形固定資産	320	77
ソフトウェア	251	
連結調整勘定	56	64
その他	12	12
投資その他の資産	744	763
投資有価証券	277	262
繰延税金資産	260	264
その他	230	295
貸倒引当金	23	58
資産合計	12,102	12,040

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
	平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在
負 債 の 部		
流動負債	3,583	3,885
支払手形及び買掛金	2,840	3,070
未払法人税等	292	349
その他	450	466
固定負債	797	790
退職給付引当金	516	516
役員退職慰労引当金	245	241
預り保証金	35	33
負債合計	4,381	4,676
資 本 の 部		
資本金	833	810
資本剰余金	896	873
利益剰余金	5,923	5,618
その他有価証券評価差額金	68	61
自己株式	0	0
資本合計	7,720	7,364
負債及び資本合計	12,102	12,040